

# あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター  
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1  
愛知県東大手庁舎 1階  
TEL：052-954-6722  
FAX：052-954-6993  
開館：月～金 10～17時



## タイトル



コメント：せんだいのおばあちゃんのところはゆきがよくふります。

篠塚明里さん（5歳）

### <表紙に掲載する私の1点、1枚を募集しています>

あおぞらの表紙にあなたの作成した作品を掲載してみませんか？興味があればご連絡ください。

①作品のタイトル ②説明（30字程度）③掲載するお名前 ④年齢 ⑤連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたはFAX、郵送にてお送りください。

### <編集委員募集のお知らせ>

月に一度発行している「あおぞら」は、愛知県被災者支援センターのスタッフとボランティアの方がたで協力をして発行しています。あなたも編集委員になってみませんか？

### <発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

※今年度から定期便が月1回に変わっています。必要な情報については、別で臨時便として郵送させていただきます。

1月25日便の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	1月23日（火）	午後	愛知県被災者支援センター
発送作業	1月24日（水）	午前	TEL：052-954-6722（渡邊）

## 支援制度紹介①（空き家バンク）

### 空き家バンクを活用

愛知県内の市町村でも空き家バンクを運営しています。下記ページに市町村の連絡先が掲載されています。活用を検討されている方は、各市町村にお問い合わせください。

### ●愛知県内の空き家バンク等

#### ①豊橋市（豊橋市空家バンク）



建設部 住宅課 〒440-8501 豊橋市今橋町1（東館3階）

Tel : 0532-51-2602（担当：施設グループ） Mail : zyutaku@city.toyohashi.lg.jp

#### ②蒲郡市（空き家情報登録制度）



建築住宅課 〒443-8601 蒲郡市旭町17-1（3階）

Tel : 0533-66-1132（担当：管理係） Fax : 0533-66-1198

#### ③豊田市（豊田市中心間地域空き家情報登録制度 空き家情報バンク）



地域振興部 地域支援課 〒471-8501 豊田市西町3-60（南庁舎4階）

Tel : 0565-34-6629 Fax : 0565-35-4745

#### ④田原市（空き家・空き地バンク）



都市整備部 建築課 〒441-3492 田原市田原町南番場30-1（北庁舎2階）

Tel : 0531-23-3527 Fax : 0531-22-3811

#### ⑤設楽町（設楽町空家バンク制度）



企画ダム対策課 〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字辻前14

Tel : 0536-62-0514 Mail : kikaku@town.shitara.lg.jp

#### ⑥新城市（新城市空き家情報登録制度）



建設部 都市計画課 〒441-1392 新城市字東入船6-1

Tel : 0536-23-7640 Fax : 0536-23-7047 Mail : toshi@city.shinshiro.lg.jp

#### ⑦東栄町（東栄町空き家情報活用制度）



地域支援課 〒449-0292 北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25

Tel : 0536-76-0504 Fax : 0536-79-3554 Mail : chiiki@town.toei.aichi.jp



## 支援制度紹介②（空き家バンク）

### ⑧豊根村（豊根村空き家情報登録制度）



地域振興課 企画係 〒449-0403 北設楽郡豊根村下黒川字蕨平 2

Tel : 0536-85-1311 (代) Fax : 0536-85-1164 Mail : info@vill.toyone.lg.jp

### ⑨南知多町（南知多町 空き家バンク）



地域振興課 地域振興係 〒470-3495 知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪 18 (3階)

Tel : 05

69-65-0711 Fax : 0569-65-0694 Mail : chiiki@town.minamichita.lg.jp

### ⑩美浜町（空き家情報バンク制度）



建設部 都市整備課 建築係 〒470-2492 知多郡美浜町大字河和字北田面 106(2階)

Tel : 0569-82-1111 Mail : toshiseibi@town.aichi-mihama.lg.jp

### ⑪春日井市（高蔵寺ニュータウン空き家バンク）



ものづくり支援課 〒486-8511 春日井市鳥居松町 5-45 春日井商工会議所内

Tel : 0568-81-4141 Fax : 0568-81-3123

### ⑫瀬戸市（せとで住もまい！きっかけサイト）



都市整備部 都市計画課 〒489-8701 瀬戸市追分町 64-1

Tel : 0561-88-2686 Fax : 0561-88-2724 Mail : tokei@city.seto.lg.jp

### ⑬犬山市（住まいの情報～犬山で住みたいネット～）



都市整備部 都市計画課 建築景観担当

〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑 36 (本庁舎 2階)

Tel : 0568-44-0331

### ⑭日進市（日進市空家バンク）



都市計画課 都市行政係 〒470-0192 日進市蟹甲町池下 268 (北庁舎 2階)

Tel : 0561-73-3297 Fax : 0561-73-1871 Mail : toshikeikaku@city.nisshin.lg.jp

次のページでピックアップとして、豊田市の取り組みである「おいでん・さんそんセンター」の活動を紹介しています。支援体制も市町村ごとに違っているので、今後の号でも様々な市町村を紹介していきます。



## 支援制度紹介③（空き家バンク）

### おいでん・さんそんセンター

豊田市中心間地空き家情報バンクは、市内中山間地域（旭、足助、稲武、小原、下山地区の全域及び石野、猿投台、高橋、藤岡、松平地区の一部地域）にある空き家について、賃貸もしくは売却を希望する空き家の所有者と、田舎暮らしを目指す移住希望者が出会えるよう、市が空き家の情報提供と入居者の募集をするしくみです。

空き家を地域資源として有効活用し、過疎地域における定住人口を増やすとともに、地域活性化を図ることを目的としています。そのため、空き家情報バンクへの利用登録には「地域に定住し、地域住民と協調して生活できること」、「定住後も地域の生活文化や自然環境への理解を深め、居住者としての自覚を持って生活できること」の要件を満たす必要があります。

田舎暮らしを希望する方は、豊田市のホームページや地域支援課、または各支所の窓口で登録された空き家の情報が閲覧できます。気に入った物件が見つかった場合、利用者登録を行うと、現地見学などで空き家の詳しい情報を得ることができます。意思が固まったら入居希望物件に申込みを行い、地域面談に参加します。



＜地域の方にお祝いされ結婚式を挙げた入居者夫婦＞

地域面談は、入居希望者、空き家の所有者、そして地域住民（自治区長など）の三者で行います。お互いの不安解消の場として活用されており、入居前の地域面談は、地域や空き家の所有者だけでなく、入居者にも大変役に立っています。平成24年6月に実施したアンケートによると入居者の87%が「地域面談が入居後の生活の役に立った」と答えており、主な意見として「事前に地域の方々と顔見知りになれたので、溶け込みやすかった」、「移住後にいろんなことを教えてもらった」などがあります。地域面談の結果、入居が決定すると、空き家の提供者と契約交渉をします。

賃貸借契約が成立した空き家には「空き家再生事業補助金」として改修に必要な経費の一部が補助されます。金額は改修費の10分の8で、上限は100万円です。

平成22年から28年度までに、この制度（足助地区の空き家紹介事業スマイルしょうかいを含む）を利用して移住した方は332人、131世帯です。移住した方のなかには、集落の神社で、地元住民にお祝いされて結婚式を挙げた夫婦もいます。また、消防団や地域のお役に参加して地域の人からも喜ばれています。



＜空き家情報バンクに登録前に物件と地域を見ることができる「暮らしの参観日」も随時開催＞

移住してみたいけれど、不安があるという方は、都市と山村の交流をコーディネートする豊田市の取組『おいでん・さんそんセンター』（電話：0565-62-0610）にお気軽にご相談ください。

## 支援制度紹介④（子育て情報サイト「あいち はぐみんネット」）



愛知県で生む、育てる、育むための情報がまとめられています。

【スマートフォン用のトップページ画面】



↓その他にも↓

### ■施設検索

子どもを預ける場所や「赤ちゃんの駅（※）」など、施設等の情報を掲載しています。

※…外出時にオムツ替えや授乳ができる場所

### ■児童館へ行こう

大きな児童館や地域密着型の児童館など、ママライターのルポ取材も掲載されており、雰囲気わかります。

### ■イクメン情報

「子育てハンドブック お父さん大好き」や「パパに伝えたいママの本音」など、男性のためのお役立ち情報がまとめられています。

### ① はぐみん優待ショップ検索

はぐみんカード、ぴよかカードの協賛店やサービス内容がわかります。詳細は、第87号（平成29年9月25日発行）の4ページで紹介していますのでご覧ください。

※47都道府県での相互利用が可能です。

### ② 市町村別 子育て情報検索

お住まいの市町村を選択してください。妊娠時、出産後、子育て期ごとに、必要な届け出、親子の健康、お金に関する制度、保育園等の施設一覧などをご覧いただけます。

### ③ 遊び場検索

市町村や年齢、ジャンルから検索できます。遊び場ごとに、住所、入館料、営業時間、定休日、駐車料金、おむつ替えができる場所（多目的トイレ）の有無やお弁当の持ち込み可能な場所などを知ることができます。

### ④ イベント情報

地域やカレンダー、ジャンルから検索できます。開催期間や住所、参加費・入館料、内容などを簡単に知ることができて便利です。家族で楽しめるイベントや子育てに役立つ講習会などが見つかります。

サイト名：あいち はぐみんネット

問合せ：愛知県健康福祉部

子育て支援課 計画・推進グループ

TEL：052-954-6315（直通）

※それぞれの制度等に関するお問い合わせは、ホームページ内の各情報に掲載されている「問い合わせ先」をお願いします。



## 支援制度紹介⑤（子育て等に関する検索サイト/相談窓口）



出産・子育てに関する制度等を紹介します。※あいちはぐみんネットからもリンクが貼られています



### 病院を探したい

#### ■あいち医療情報ネット

医療機関・助産所・薬局を、地域名や地図、駅、診療科目などから検索できます。検索結果に、電話番号、診療時間などを掲載しています。



#### ■あいち救急医療ガイド

緊急時に「今診てもらえる病院・診療所をさがす」ことができます。住所や駅、日時や診療科目から検索できます。



[日本語版]

From this Aichi Emergency Medical Care Guide site, you can get the information about the hospitals that are operating now.



[Foreign language]

※各医療機関における外国語対応は各医療機関の個別情報に掲載してあります。



### 電話で相談したい【夜間】

#### ■育児ももしもキャッチ

保健所・保健センター等が閉庁する時間帯に、保健師や助産師など相談員が電話相談に応じます。



TEL 0562-43-0555

時間 17:00～21:00（水曜～土曜）

（あいち小児医療保健医療総合センター  
外来休診日を除く）

#### ■愛知県小児救急電話相談

医療機関の診療時間外に看護師資格のある相談員が電話相談に応じます。



TEL #8000（短縮番号）

または 052-962-9900

時間 19:00～翌8:00（年中無休）



### 子どもを産みたい

#### ■愛知県不妊・不育専門相談センター

名古屋大学医学部附属病院が受託しています。主に、電話相談はカウンセラーが、面接相談は医師が対応します。



#### 【電話相談】

時間 10:00～13:00（毎週 月曜・木曜）

18:00～21:00（第1・第3水曜）

#### 【面接相談（予約制）】時間は電話にて確認ください

TEL 052-741-7830（専用回線）

（祝日、年末年始、お盆を除く）

※電話相談と面接の予約は同じ電話番号

#### ■特定不妊治療費の助成

指定医療機関にて、体外受精または顕微授精を受けられたご夫婦（年齢や所得等の条件あり）に対して、費用の一部を助成します。



問合せ：愛知県児童家庭課母子保健グループ

TEL 052-954-6283

※名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市は各市の保健所へお問い合わせください

#### ■一般不妊治療費の助成

人工授精を受けられたご夫婦に対して、費用の一部を助成します。市町村によって内容が異なります。



### 仕事に復帰したい

#### ■ママ・ジョブ・あいち （あいち子育て女性再就職サポートセンター）

サポートメニューは、相談・カウンセリング、ワークショップ（交流会）、職場実習、再就職相談会です。お気軽にお尋ねください。



TEL&FAX 052-485-6996

時間 9:30～18:00（月曜～金曜）

10:00～17:00（土曜）

（祝日、年末年始を除く）

## 子育て体験記 ～自主避難後の子育てと支援についての覚え書き～

東日本大震災の直後、一番心配していたのは、娘と息子のことでした。

福島市から私の実家がある名古屋市へ自主避難して、愛知県教育委員会を夫婦で訪ねました。愛知県教委の助言を受けつつ、娘を愛知県立旭丘高校の美術科へ転入させる手続きをとりました。福島の高校でデザインを学んでいた娘は、震災後1年間を旭丘高校美術科で学び、卒業しました。旭丘高校は愛知県の名門進学校で、「デッサン力など、レベルが高くてついていけないのでは？」と気おくれする親を傍目に、「下の下でもついていく、旭丘に入りたい」と強気な娘でした。福島の高校の先生方も柔軟に対応して下さり、震災後に何人かの福島県の生徒が、愛知の旭丘高校に受け入れていただき学んだそうです。旭丘高の文化祭で、美術科3年生は模擬店の手作り雑貨で11万円稼ぎ、東北の被災美術の修復に取り組むNPO団体への寄付を行いました。娘は、師と級友からのそんな温かな支えに感謝していました。

その後、希望どおりに大学進学・卒業した娘は、愛知県内の企業に就職して、サイン・システムのデザイナーとして勤務2年目です。震災で進路は揺れ動きましたが、ユニバーサルデザインの仕事をしたいという、娘の中学生の頃からの夢がいつしか実現していました。

震災当時まだ小学6年生だった息子は、事態を受け止めるのに時間がかかりました。名古屋市立の中学校に入学式から参加し、転校生ではないけれど仮入学という形でした。1年後に、住民票を福島市から名古屋市に移し、正式に在籍しました。避難生徒に対応するための副担任がつき、福島育ちの息子の都市生活でのカルチャーギャップなどについて、毎月スクールカウンセラーに相談するため、私も中学校に足を運びました。学力の不安、思

春期の心の揺れ、姉のように美大へ進学したいのか、それとも文系の進路が向くのか…。そんなデリケートな悩みを中学校がくみ取ってくれ、息子は名古屋市内の同朋高校（美術指導が充実）に学校推薦で進学、落ち着いた高校生活を送りました。現在は大学1年生となり、グラフィックデザインを学んでいます。その進路は、中学時代の進路指導の結果でもあり、高校時代の美術や担任の先生方の温かなご指導のおかげでもあり、周囲の大人の配慮の中、震災後の学校生活をなんとか穏やかに過ごしてきました。中学時代の半分は、放射性物質への不安からマスクをつけて登校した息子でした。高校の卒業間近な美術室で、先生がふいに「N君は福島から震災避難したんだ」と告げ、友人たちが「知らなかった、どうして言ってくれなかったんだ」と驚いた一幕もあったそうです。心のこもった生徒演出の同朋高校の卒業式では、保護者席の私もついもらい泣きしてしまいました。大学生活・就職の展望など息子の未来は、まだ未知数ですが、苦手なパソコン操作で、自らパソコン教室に通い始めたその姿には、「二度とない青春を楽しんで」と心から願わずにはいられません。

夫は震災後1年、福島市から名古屋へ転居し、転職した岐阜の職場で働いています。専業主婦だった私も、私立幼稚園の預かり保育の講師として働いています。元気いっぱいの子供たちと接するのは楽しく、息子の教育費用もかかりますので、まだしばらく働くつもりです。

愛知での温かなご支援に感謝する一方、今年の春先に横浜市の震災いじめが問題になった例など、避難した子どもたちのその後が気がかりです。ADRの申請など含め、日々まぎれ忘れかけていた震災・原発事故のことを、今一度、見つめ直したいと思います。

(ペンネーム T.N)

## 支援センターからのお知らせ

### <1月の交流会等イベントカレンダー>

年明けからも招待イベントを中心にイベントが行われています。継続して参加されている方も、新規の方も楽しめる内容になっているので、気分転換に参加されてみてはいかがでしょうか。

開催日	イベント名	開催地域
1月5日(金)～ 1月6日(土)	人形劇団むすび座 冬休み人形げきじょう 2017	中区
1月13日(土)	第64回 囲碁クラブ交流会	東区
1月20日(土)～ 1月21日(日)	豊通ファイティングイーグルス名古屋(プロバスケットボールチーム)のホームゲームへの招待	西区

イベントの詳細は定期便に同封のチラシをご覧ください。チラシを無くされた方は、支援センターまでご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

### <編集後記>

- ★健康診断の結果、いろいろ問題が見つかり、年齢を自覚し無理をしてはいけないという警告と受け止めました。まずは生活を改めるため、毎日1万歩の歩きに取り組んでいます。(K.T)
- ★パンシェルジュ検定のベーシック(3級)に合格しました。パン作りで上手くいかない原因が分かりました。(J.I)
- ★街の日暮れが早くなりました。ふと足場を見直すゆとりを持ちたいです。(T.N)
- ★今年もあつという間に12月です。子どもの視点で社会をつくれれば、さぞかしまともな社会になるでしょう。次世代に託す姿勢を忘れずに年を重ねたいと思います。(E.K)
- ★ささしまライブで行われた防災イベントのお手伝いをしました。10代～60代?の幅広いボランティアが参加していて、突発的なことにも知恵を出し合い、乗り切りました。防災訓練をしたような感覚で、いい経験になりました。(Y.Y)
- ★先日「ふるさと福島体験ツアー」に参加しました。いわきより6号線を北上し、第一原発を遠望しました。線量計がなかったのが心残りです。浪江町の十日市会場の傍らではイノシシを見ました。同乗の皆さんも驚いていました。彼にはあそこが故郷になったのでしょうか。(H.I)
- ★今年も沢山干し柿を作り、合計で250個になりました。次々と「渋柿」をもらったり買ったり、種類もいろいろ、干し柿にするとどれもおいしい。「秋」に感謝!(H.T)



#### あおぞらに関する ご意見ご感想はこちら

〒460-0001

名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1階

愛知県被災者支援センター

TEL: 052-954-6722

FAX: 052-954-6993

Mail: aozora@aichi-shien.net

